

2024年3月期 第3四半期 決算説明会



2024年2月6日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

2024年3月期 第3四半期決算状況

2024年3月期 第3四半期決算におけるポイント	4
1. 売上高・利益	5
2. セグメント別業績	8
- 自動車電池（国内）	9
- 自動車電池（海外）	10
- 産業電池電源	11
- 車載用リチウムイオン電池	12
- 特殊電池およびその他	13
3. 貸借対照表	14
4. 連結業績予想の修正	15
5. 増資について	17
6. リチウムエナジー ジャパンの再編について	19

2024年3月期 第3四半期決算状況

2024年3月期 第3四半期決算におけるポイント

2024年3月期 第3四半期業績 (4-12月)

	2022 年度 第3四半期 (4-12月)	2023 年度 第3四半期 (4-12月)	増減	前年比
売上高	3,749 億円	4,116 億円	+367 億円	+9.8 %
営業利益	190 億円	294 億円	+104 億円	+54.7 %
のれん等償却前営業利益	198 億円	298 億円	+100 億円	+50.7 %
経常利益	161 億円	290 億円	+129 億円	+80.3 %
親会社株主に帰属する四半期純利益	78 億円	177 億円	+99 億円	+126.0 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益	86 億円	181 億円	+95 億円	+109.7 %

業績の動向

- ▶ 売上高および営業利益の増加要因：販売価格是正
ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量増加
- ▶ 経常利益および純利益の増加要因：持分法による投資損益の改善
為替差損益の改善

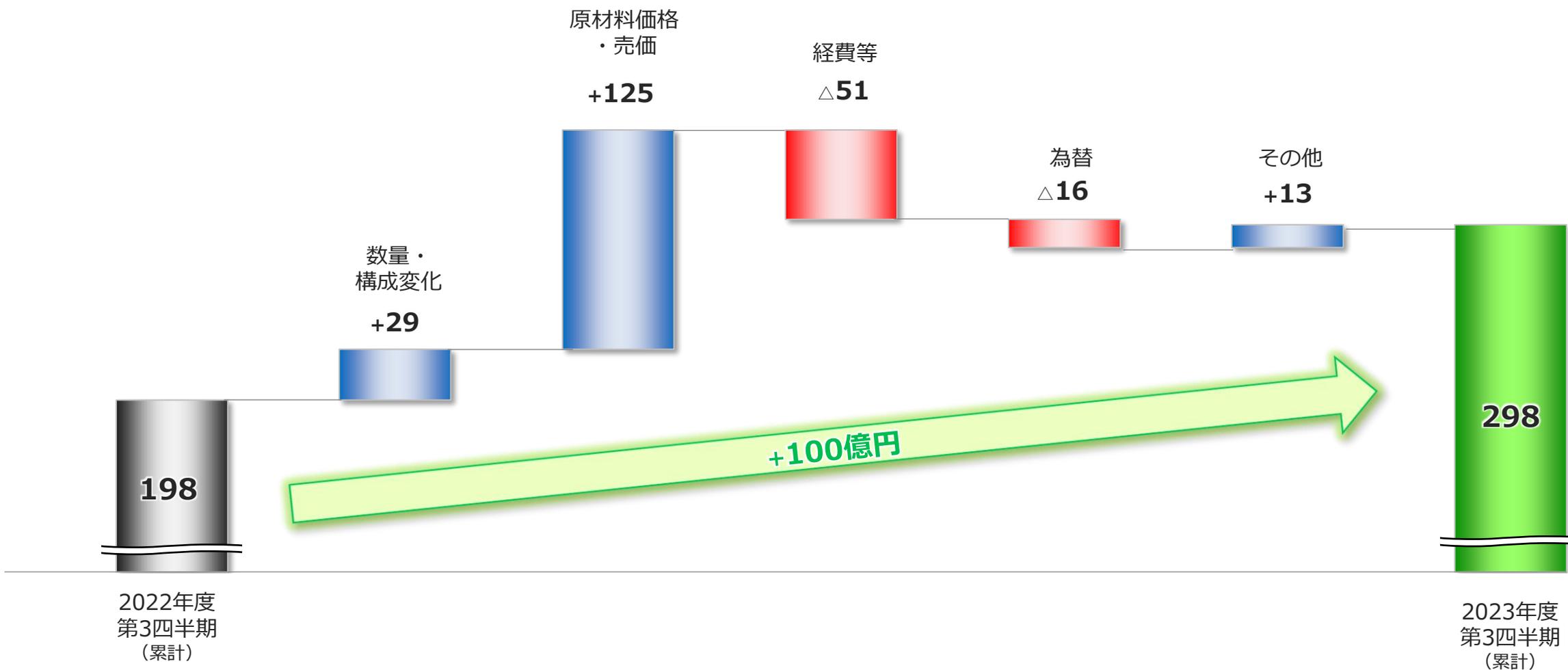
1. 売上高・利益

	2022 年度 第3四半期 (4-12月)	2023 年度 第3四半期 (4-12月)	増減 (前期比)	(億円)	
				[参考] 2023 年度予想	
				前回予想 (2023.11)	2024.2予想
売上高	3,749	過去最高 4,116	+367 (+9.8%)	5,600	5,600
売上総利益	815	931	+116	-	-
営業利益 (営業利益率)	190 5.1%	過去最高 294 7.1%	+104 (+54.7%) +2.0P	370 6.6%	420 7.5%
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	198 5.3%	過去最高 298 7.2%	+100 +1.9P	375 6.7%	425 7.6%
経常利益	161	過去最高 290	+129 (+80.3%)	320	380
特別利益	16	37	+21	-	-
特別損失	5	38	+33	-	-
税前三四半期純利益	172	289	+117	-	-
法人税等	57	61	+4	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	51	+15	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	78 2.1%	過去最高 177 4.3%	+99 (+126.0%) +2.2P	160 2.9%	210 3.8%
のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期純利益 (のれん等償却前四半期純利益率)	86 2.3%	過去最高 181 4.4%	+95 +2.1P	165 2.9%	215 3.8%
国内鉛建値 (万円/t)	34.71	37.29	+2.58	38.1	38.1
L M E (US\$/t)	2,093	2,136	+43	2,200	2,200
為替 (円/US\$)	136.85	143.78	+6.93	145.00	145.00

1. 売上高・利益

営業利益増減要因（前年比較）

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

1. 売上高・利益

営業外損益・特別損益増減要因（前年比較）（億円）

	2022 年度 第3四半期 (4-12月)	2023 年度 第3四半期 (4-12月)	増減	
営業利益	190	294	+104	
営業外収益	19	52	+33	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 持分法による投資利益 +30億円 (うち中国事業の見直しなど +28億円)
営業外費用	48	56	+8	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 投資有価証券売却益 +16億円 (政策保有株式の縮減)
経常利益	161	290	+129	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関係会社出資金譲渡益 +15億円 (中国事業の譲渡による為替換算調整勘定の実現)
特別利益	16	37	+21	
特別損失	5	38	+33	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関係会社事業整理損 △29億円 (中国事業の見直しによる損失)
税金等調整前四半期純利益	172	289	+117	

2. セグメント別業績

(億円)

		2022 年度 第3四半期 (4-12月)		2023 年度 第3四半期 (4-12月)		増減		[参考] 2023 年度予想			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	前予想 (2023.11)		2024.2予想	
								売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車 電池	国内	631	42 (6.7)	689	52 (7.6)	+58	+10 (+0.9)	950	70 (7.4)	950	70 (7.4)
	海外	1,869	102 (5.5)	1,907	134 (7.0)	+38	+32 (+1.5)	2,470	160 (6.5)	2,470	175 (7.1)
産業電池電源		659	33 (5.0)	737	64 (8.7)	+78	+31 (+3.7)	1,100	95 (8.6)	1,100	110 (10.0)
車載用 リチウムイオン電池		452	10 (2.2)	629	24 (3.9)	+177	+14 (+1.7)	880	40 (4.5)	880	45 (5.1)
特殊電池およびその他		136	11 (7.9)	154	24 (15.4)	+18	+13 (+7.5)	200	10 (5.0)	200	25 (12.5)
合計		3,749	198 (5.3)	4,116	298 (7.2)	+367	+100 (+1.9)	5,600	375 (6.7)	5,600	425 (7.6)

23年度 第3四半期実績

- 自動車生産はサプライチェーンの回復により増加
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移も、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
(LME：前年2,093⇒2,136US\$/t、国内鉛建値：前年34.7⇒37.3万円/t)
- 為替は円安基調が継続 (前年136.85⇒143.78円/US\$)

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度3Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

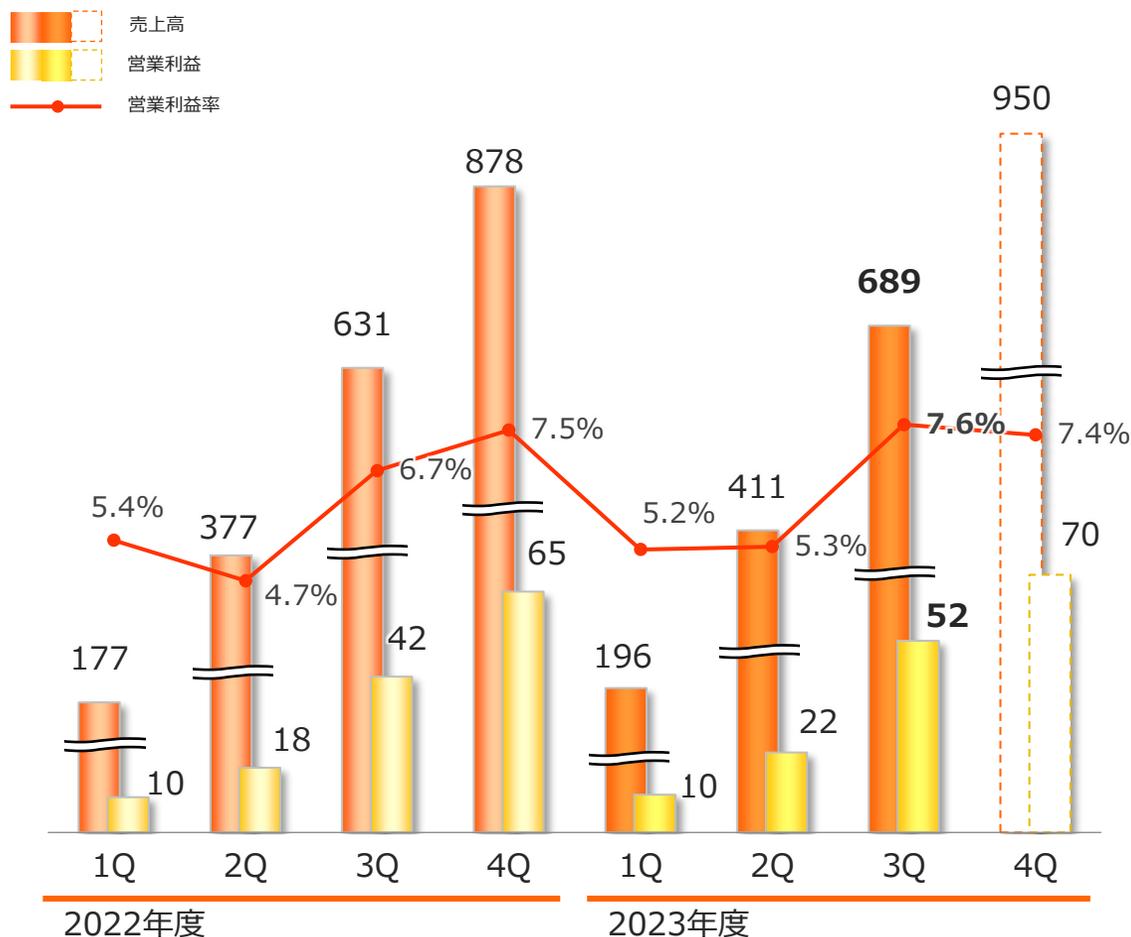
2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

自動車電池（国内）

増収増益

売上高・営業利益・利益率

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2023年度 第3四半期商況（4-12月）

- [新車向け] 半導体不足解消による新車販売台数回復により販売数量が増加
- [補修向け] 新車向け需要回復により販売数量は減少するも、売価見直しなどにより売上高が増加

増減益要因（4-12月）

数量・構成変化	+1	
原材料価格・売価	+11	売価見直しにより増加
経費等	△2	

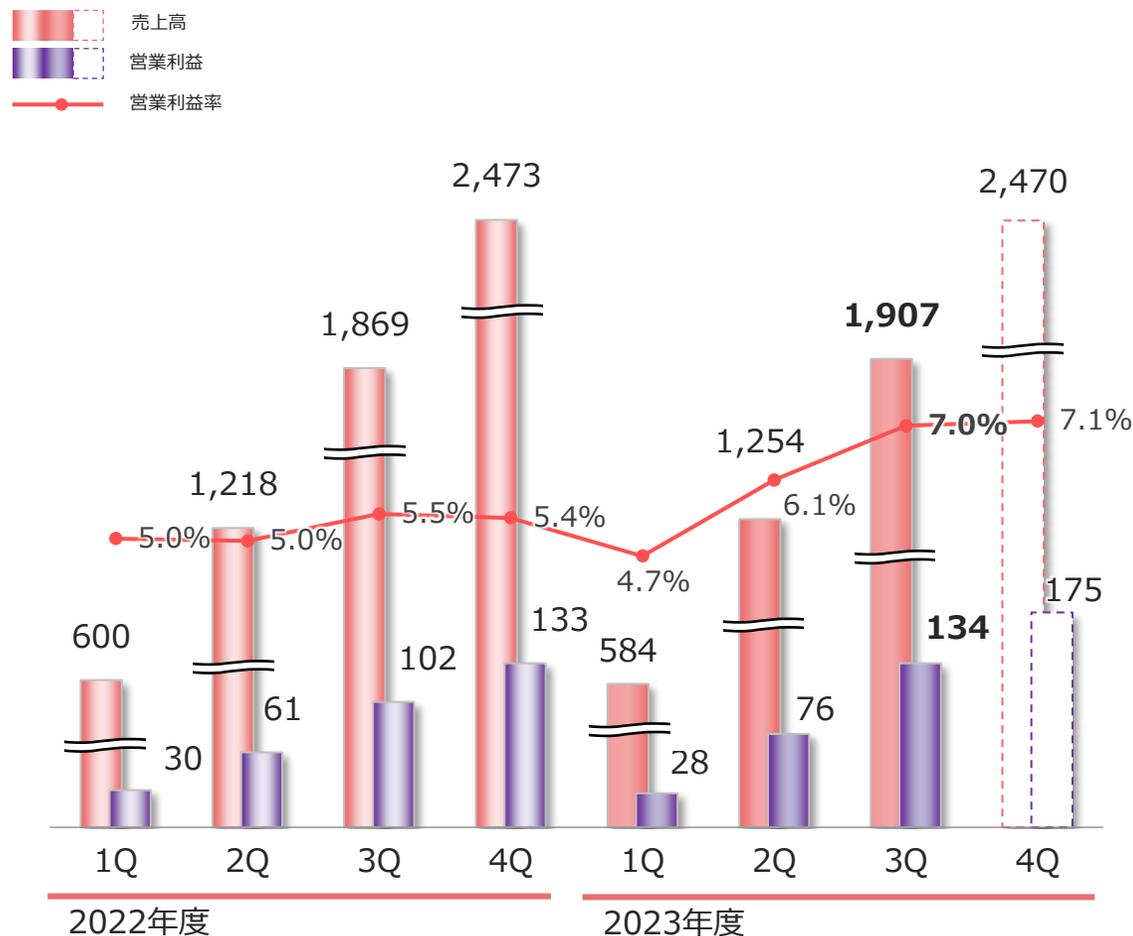
2. セグメント別業績 (自動車電池 (海外))

自動車電池 (海外)

増収増益

売上高・営業利益・利益率

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2023年度 第3四半期商況 (4-12月)

- ▶ [東南アジア] 自動車用、オートバイ用の販売数量が減少
- ▶ [欧州、豪州] 自動車用販売数量が堅調に推移するとともに、売価見直しにより売上高は増加
- ▶ [中国] 主要2拠点の持分譲渡完了(10月末)により連結対象から除外

増減益要因 (4-12月)

数量・構成変化	△30	主に中国、インドネシアでの物量減
原材料価格・売価	+111	コスト上昇の売価反映により増加
経費等	△34	インフレ影響による経費増加
為替	△16	トルコリラ安の影響

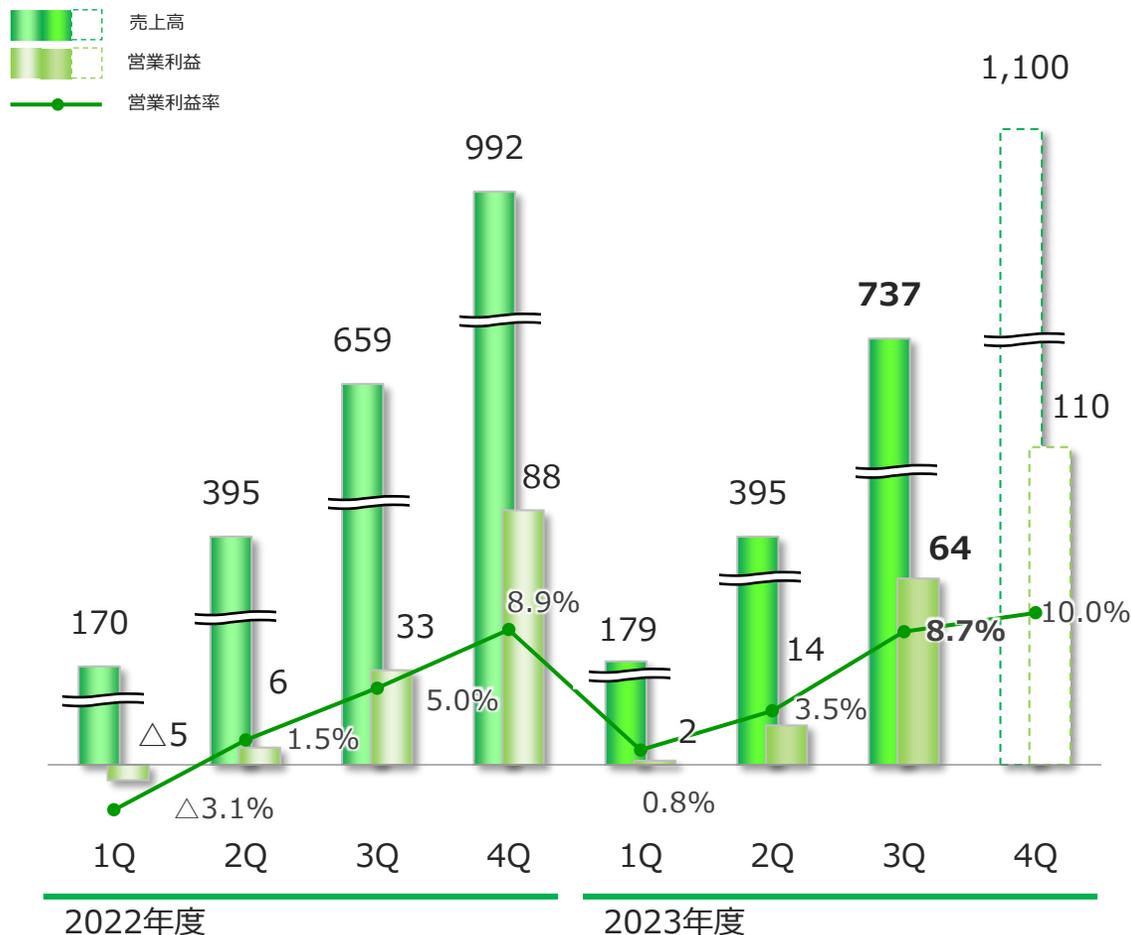
2. セグメント別業績 (産業電池電源)

産業電池電源

増収増益

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2023年度 第3四半期商況 (4-12月)

- ▶ [常用 (国内)] 蓄電 (ESS) 用リチウムイオン電池の販売が増加
- ▶ [非常用 (国内)] バックアップ用電池電源装置は売価見直しなどにより売上高は堅調に推移
- ▶ [フォークリフト用 (グローバル)] 国内販売数量は減少するも、売価見直しなどにより売上高は増加

増減益要因 (4-12月)

数量・構成変化	+14	常用分野で数量が増加
原材料価格・売価	+14	売価見直しにより増加
経費等	+4	

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度3Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

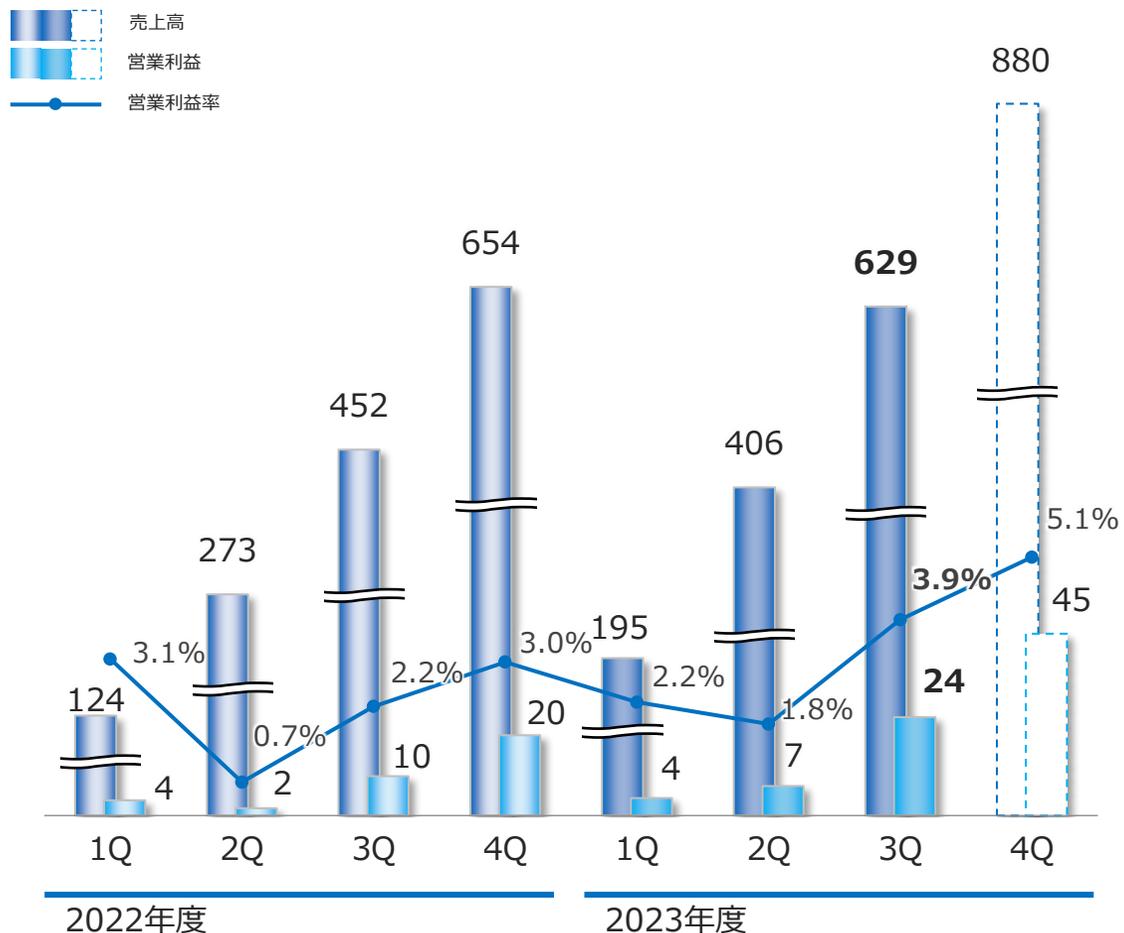
2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)

車載用リチウムイオン電池

増収増益

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2023年度 第3四半期商況 (4-12月)

- ▶ [HEV] 半導体不足解消による新車メーカー生産回復、BECの生産体制強化により販売数量が増加
- ▶ [PHEV] 搭載車種の販売数量が減少
- ▶ [EV] 商用EV用リチウムイオン電池の販売開始
- ▶ [12V LiB] 納入車種の販売増加により販売数量が増加

増減益要因 (4-12月)

数量・構成変化	+44	HEV用、ESS用、12V LiBの販売増加
原材料価格・売価	△10	
経費等	△20	BEC第2工場稼働や物量増に伴う経費増加、BEV研究開発費増加

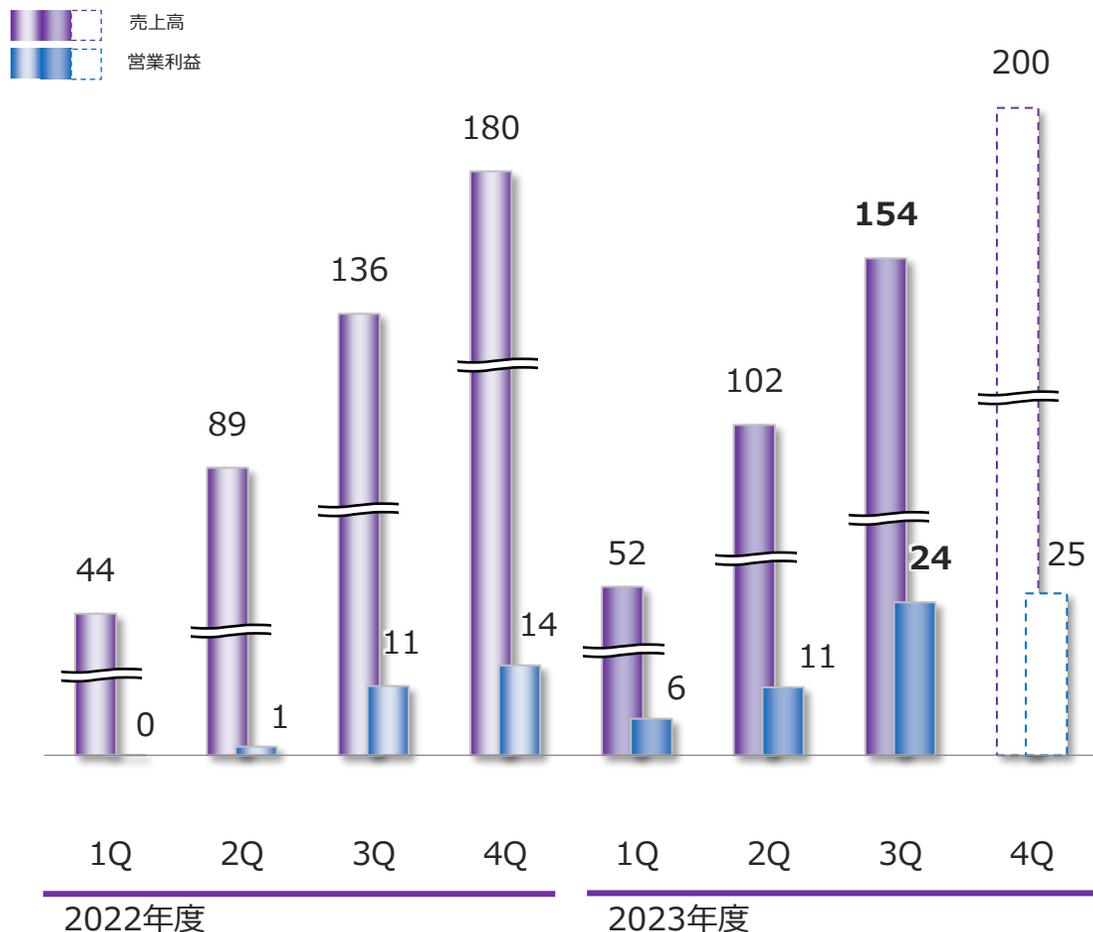
2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

特殊電池およびその他

増収増益

売上高・営業利益

(億円)



2023年度 第3四半期商況 (4-12月)

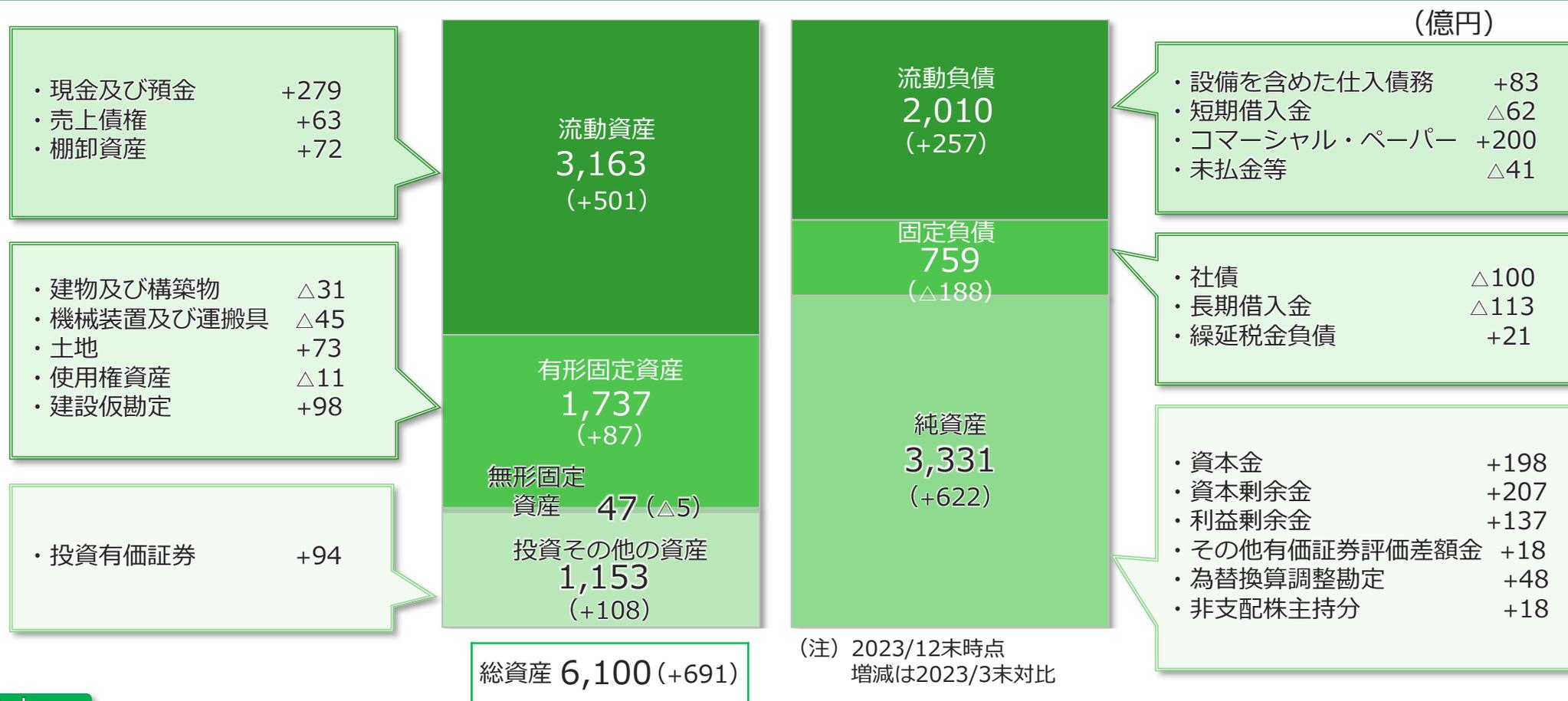
- ▶ [航空機用リチウムイオン電池] ↗
主としてエアライン（補修）向け販売数量が増加
- ▶ [膜事業]
2023年度より、産業電池電源セグメントから移管

増減益要因 (4-12月)

航空機用エアライン（補修）向け販売増加ならびに、経費の減少により増益

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度3Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

3. 貸借対照表



ポイント

- 公募増資の実施により現金及び預金が増加
- 主に産業電池電源で需要期に向け、棚卸資産が増加
- BEV事業開始に向け、滋賀県守山市にて工場用地を取得し造成中
- 産業電池電源の新工場建設などで建設仮勘定が増加

	2023/3末	2023/12末
自己資本比率	42.6%	47.7%
借入金総額	1,037億円	962億円

4. 連結業績予想の修正

(億円)

		2022 年度 実績		2023 年度 前回予想 (A)		2023 年度 修正予想 (B)		増減 ((B)-(A))	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	878	65 (7.5)	950	70 (7.4)	950	70 (7.4)	-	- (-)
	海外	2,473	133 (5.4)	2,470	160 (6.5)	2,470	175 (7.1)	-	+15 (+0.6)
産業電池電源		992	88 (8.9)	1,100	95 (8.6)	1,100	110 (10.0)	-	+15 (+1.4)
車載用リチウムイオン電池		654	20 (3.0)	880	40 (4.5)	880	45 (5.1)	-	+5 (+0.6)
特殊電池およびその他		180	14 (7.7)	200	10 (5.0)	200	25 (12.5)	-	+15 (+7.5)
合計		5,177	321 (6.2)	5,600	375 (6.7)	5,600	425 (7.6)	-	+50 (+0.9)

主な修正の理由

- 自動車電池（海外）は欧州・豪州での売価見直しの影響
- 産業電池電源は常用分野の好調および非常用分野の売価見直しを反映
- ESS用や12V LiBで売価是正が進んだこと、稼働率向上によるリチウムエネルギー ジャパンの好調を反映
- 特殊電池およびその他は航空機用リチウムイオン電池の好調や管理部門の経費削減を反映

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

4. 連結業績予想の修正

		(億円)			
		2022年度 実績	2023年度 前回予想 (A)	2023年度 修正予想 (B)	増減 ((B)-(A))
売上高		5,177	5,600	5,600	±0
営業利益		315	370	420	+50
(営業利益率)		6.1%	6.6%	7.5%	+0.9P
のれん等償却前営業利益		321	375	425	+50
(のれん等償却前営業利益率)		6.2%	6.7%	7.6%	+0.9P
経常利益		242	320	380	+60
親会社株主に帰属する当期純利益		139	160	210	+50
(当期純利益率)		2.7%	2.9%	3.8%	+0.9P
のれん等償却前親会社株主に帰属する当期純利益		144	165	215	+50
(のれん等償却前当期純利益率)		2.8%	2.9%	3.8%	+0.9P
年間配当金		50円/株	50円/株	60円/株	+10円/株
配当性向		28.9%	28.7%	24.8%	△3.9P
総還元性向 (のれん等償却前純利益)		27.9%	-	26.6%	-
前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	34.66	38.1	38.1	-
	LME (US\$/t)	2,105	2,200	2,200	-
	為替 (円/US\$)	136.0	145.0	145.0	-

5. 増資について (公募増資と並行第三者割当増資の概要)

株式発行総数	80,599,442株 ▶ 100,446,442株 (+19,847,000株)
調達金額	約396億円

並行第三者割当増資の概要

割当先/割当株式数
本田技研工業 (株) / 2,497,700株

Hondaとの連携を通じて
日本国内でBEV用LiBの強固な
サプライチェーンを構築

国内向けBEVの普及に貢献し、
企業価値向上を目指す

Hondaとの協業

HEV領域

- 2011年度よりHonda向けに納入開始。その他日系メーカー向けにも拡販
納入実績：約**270**万台 (2023年10月末時点)
- ブルーエナジーの生産能力：
2022年度下期 **5,000万セル**/年 ▶ 2025年度 **7,000万セル**/年

BEV領域

- 2023年度：高容量・高出力なLiBに関する研究開発を目的とした新会社
株式会社 Honda・GS Yuasa EV Battery R&D
が8月より事業を開始
- 2027年度：生産ラインを稼働開始
- 生産能力：2030年度 **20GWh**/年 (GSユアサ・Honda・ブルーエナジー)

5. 増資について（目的／意義と資金使途）

1

大きく変化する外部環境

カーボンニュートラル実現に向けて、グローバルで蓄電池需要が急拡大

2

事業ポートフォリオを大きく変革する転換点

HEV領域で培ってきた技術力を生かして、BEV領域に参入

更なる成長機会捕捉に向けてバランスシートを強化するとともに、外部環境変化に伴い急拡大するBEV領域における設備投資・研究開発資金、中長期的な成長ドライバーとなるHEV領域における設備投資資金に充当



BEV用LiBの設備投資資金

対象: BEC

充当金額 **300**億円



BEV用LiB^{*1}及び次世代電池の研究開発資金

対象: Honda・GS Yuasa EV Battery R&DおよびG Sユアサ

充当金額 **80**億円



HEV用LiBの設備投資資金

対象: BEC

残額を充当

(注1) 当該LiBはESS向けにも使用

6. リチウムエネルギー ジャパンの再編について

リチウムエネルギー ジャパンの合併解消について

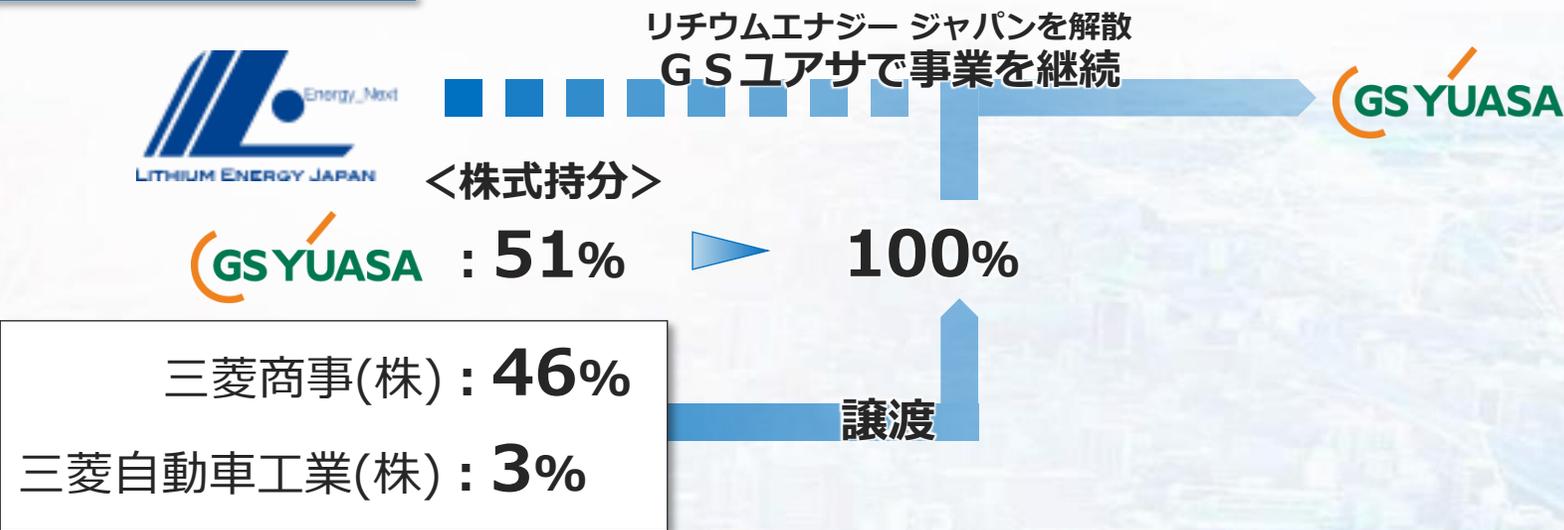
合併解消の理由

自動車の電動化に伴うLiBの重要性の高まりに対応するため

▶ **GSユアサに事業を統合して効率化**

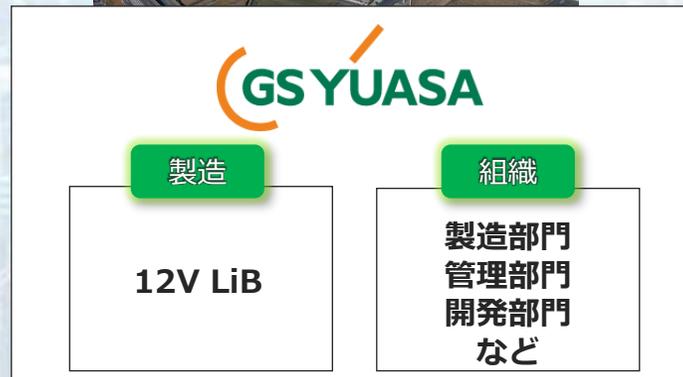
再編による効果と対応

- ▶ GSユアサグループとして車載 & ESS の拡大に対して**機動的な対応を実現**
- ▶ 株式を譲り受けることで、一時費用は発生するものの、**中長期的には純利益・ROEの改善**につながる
- ▶ 今後の電動化に向けて、**三菱自動車工業(株)にも引き続き電池を供給**
- ▶ 拡大する再エネ市場で活躍する**三菱商事(株)と社会インフラビジネスで協力**



6. リチウムエネルギー ジャパンの再編について

リチウムイオン電池事業の機動的な対応について



モビリティ・社会インフラの拡大に向けて

- ✓ 大容量から小容量までさまざまな用途のリチウムイオン電池の開発・製造を一元化
- ✓ 組織の重複の解消
- ✓ IT・DX環境の整備
- ✓ 購買機能の一本化

機動的に対応できる組織体制を整備

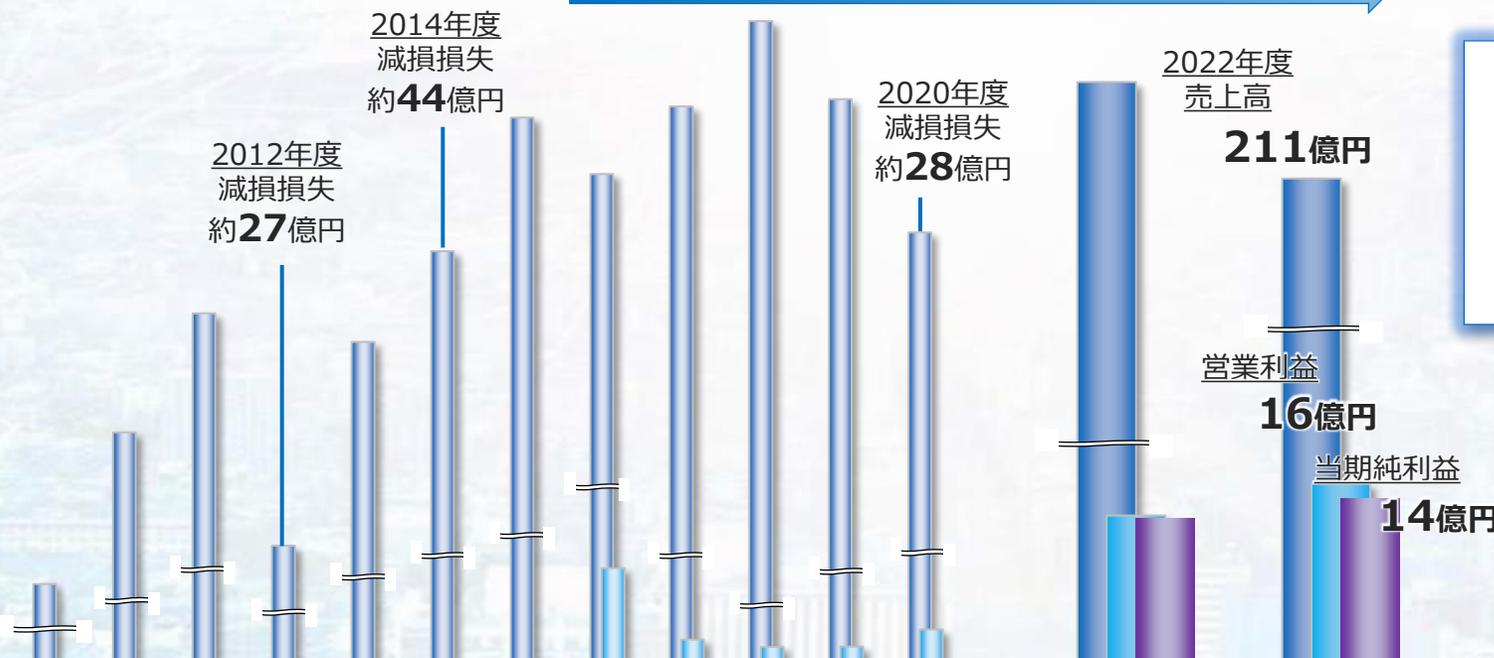
6. リチウムエナジー ジャパンの再編について

リチウムエナジー ジャパンの業績推移

(億円)

当期純利益も拡大

2016年度から単年度営業黒字化



今後は
当期純利益の社外流出がなくなる

▶ ROEの改善

合弁解消・事業譲受により

約半分が
非支配株主へ

2007年 :

三菱商事(株)、三菱自動車工業(株)と合併で(株)リチウムエナジー ジャパン設立



2009年 :

世界初の量産型EV「i-MiEV」にリチウムイオン電池を供給



2012年~ :

三菱自動車工業(株)向けにPHEV用リチウムイオン電池を供給



2020-21年 :

北海道の世界最大規模の蓄電池設備向けにリチウムイオン電池を製造



6. リチウムエネルギー ジャパンの再編について

今後の三菱商事(株)、三菱自動車工業(株)との関係

モビリティ



BEV用
PHEV用
HEV用
供給

三菱自動車工業(株)
他日系自動車メーカーなど

日系自動車メーカーの
電動化に機動的に対応

▶ 日系自動車メーカーの電動化のパートナーの1社として三菱自動車に電池を供給

研究開発

研究開発の
成果を両分野で活用

高容量・高出力なリチウムイオンバッテリーに関する研究開発

Honda・GS Yuasa
EV Battery R&D

社会インフラ



ESS用LiB
連携

発送電会社
三菱商事(株)
エネルギー会社など

電動車の生産能力を、
常用分野に活用

▶ GSユアサグループでESS向けLiBを開発・製造
常用分野のパートナーの1社として三菱商事と連携を進める

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。

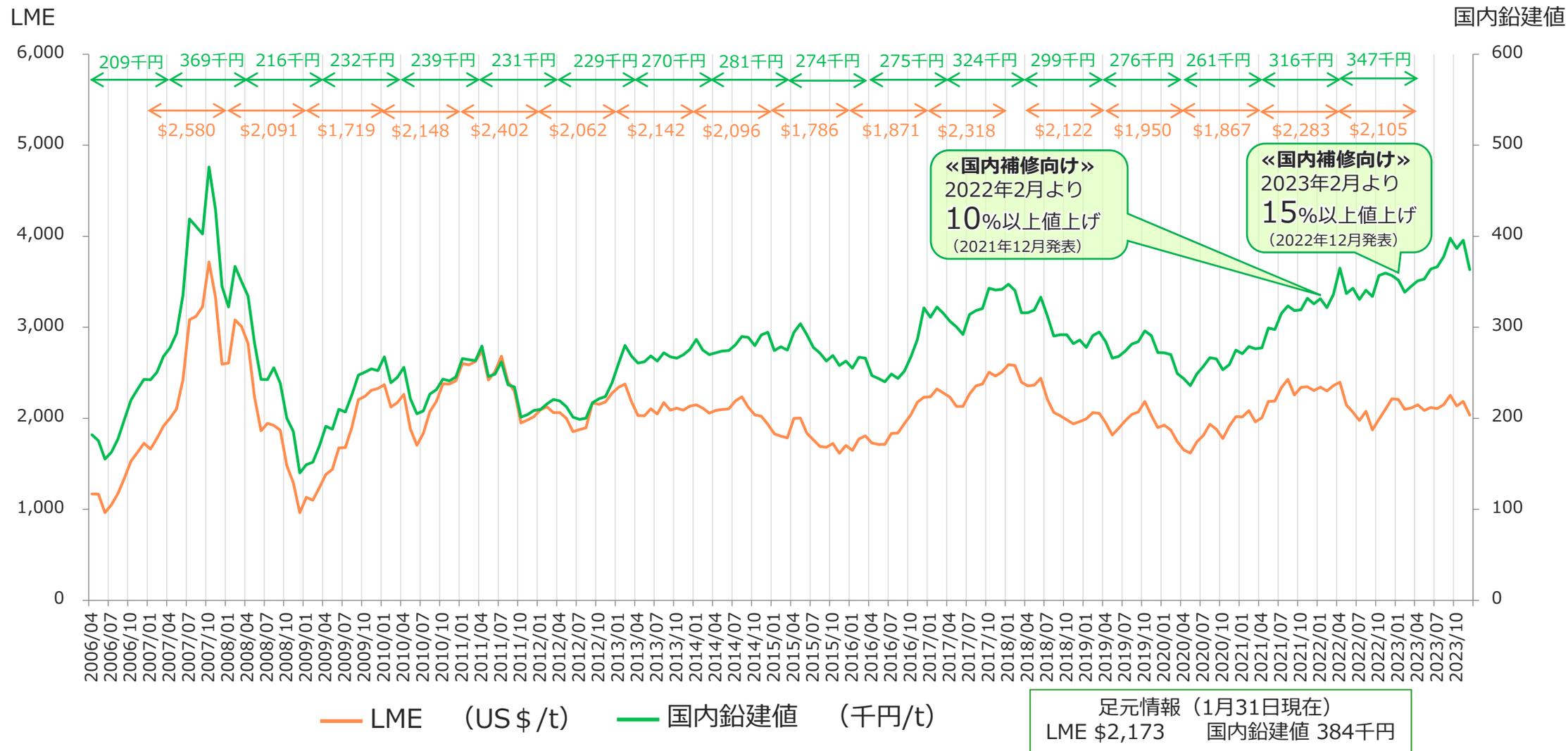


連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コーポレート室（広報） 青木 裕・西島 務・田中 祥太・神田 文
Tel : 075-312-1214
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

參考資料

原材料価格の推移



セグメント別業績の四半期推移

(億円)

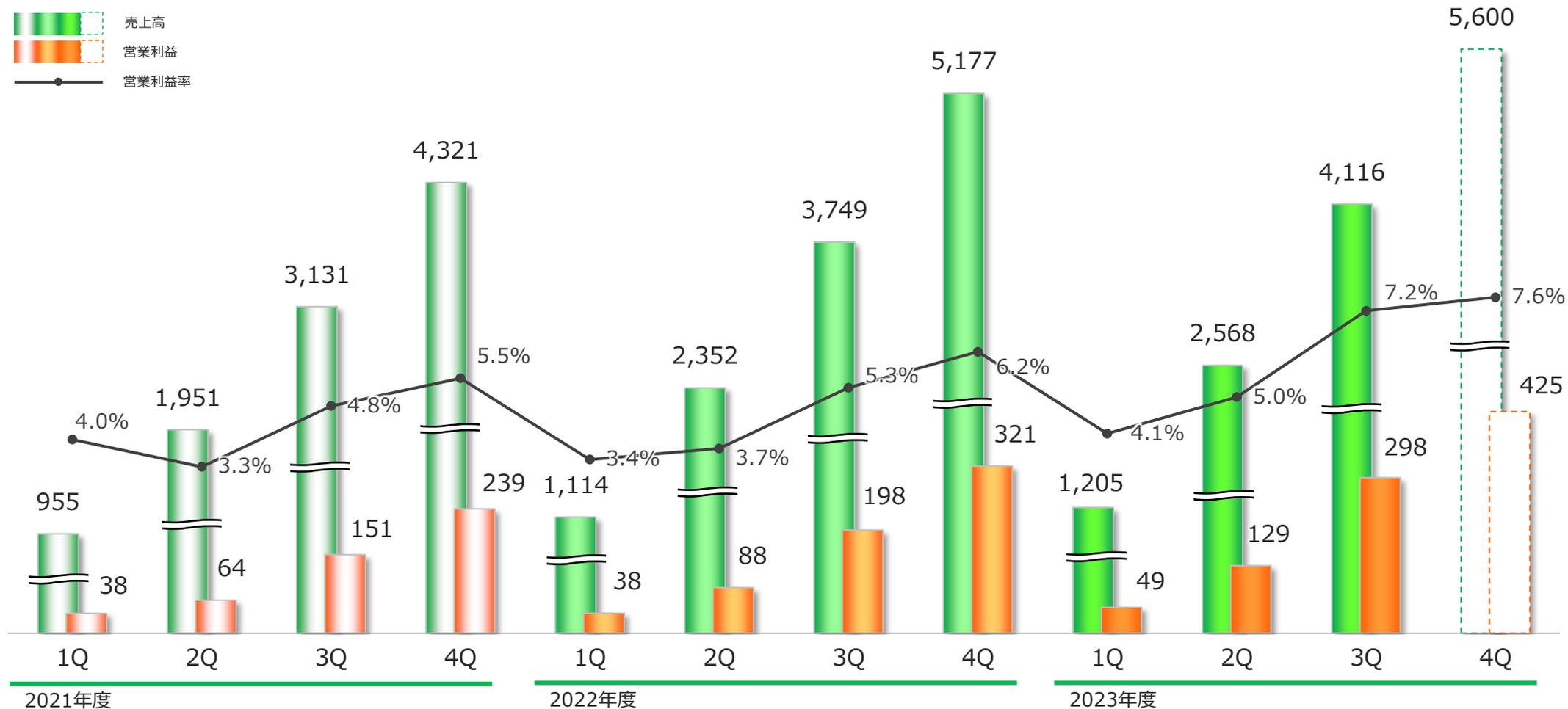
		2022 年度									2023 年度												
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)	第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期見通し (4-3月)				
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)
自動車電池	国内	177	10 (5.4)	200	8 (4.0)	255	25 (9.7)	247	23 (9.4)	878	65 (7.5)	92 (10.5)	196	10 (5.2)	215	11 (5.3)	278	30 (10.9)	-	-	950	70 (7.4)	-
	海外	600	30 (5.0)	619	31 (5.0)	651	41 (6.3)	604	31 (5.2)	2,473	133 (5.4)	201 (8.1)	584	28 (4.7)	671	48 (7.2)	652	58 (8.8)	-	-	2,470	175 (7.1)	-
産業電池電源		170	△5 (△3.1)	225	11 (5.1)	264	27 (10.2)	321	53 (16.5)	992	88 (8.9)	106 (10.6)	179	2 (0.8)	216	12 (5.6)	342	51 (14.8)	-	-	1,100	110 (10.0)	-
車載用リチウムイオン電池		124	4 (3.1)	150	△2 (△1.3)	179	8 (4.4)	201	10 (5.0)	654	20 (3.0)	61 (9.3)	195	4 (2.2)	211	3 (1.4)	224	17 (7.6)	-	-	880	45 (5.1)	-
特殊電池およびその他		44	0 (0.2)	45	1 (2.9)	48	9 (19.7)	56	5 (9.6)	180	14 (7.7)	71 (39.4)	52	6 (10.9)	50	5 (9.7)	51	13 (25.5)	-	-	200	25 (12.5)	-
合計		1,114	38 (3.4)	1,238	49 (4.0)	1,397	110 (7.9)	1,429	123 (8.6)	5,177	321 (6.2)	530 (10.2)	1,205	49 (4.1)	1,363	80 (5.9)	1,548	169 (10.9)	-	-	5,600	425 (7.6)	645 (11.5)

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。EBITDAはのれん等償却前営業利益+減価償却費です。

(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度3Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

売上高・営業利益・利益率推移

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。